

建築物の新築、改築若しくは用途の変更又は第一種特定

工作物の新設許可申請書

《記入例・注意事項》

該当する欄を囲む 建築物 新築 都市計画法第43条第1項の規定により、第一種特定工作物の改築用途の変更新設の許可を申請します。 申請日を記載 令和〇〇年〇〇月〇〇日 磐田市長 許可申請者住所 磐田市国府台3番地1 氏名 磐田 太郎 電話番号 0538-37-〇〇〇〇 ※ 手数料欄 手数料は許可書をお渡しする際に現金又は電子決済（PayPay）でお支払いください。												
1	建築物を建築しようとする土地、用途の変更をしようとする建築物の存する土地又は第一種特定工作物を新設しようとする土地の所在、地番、地目及び面積	磐田市〇〇〇字△△△123番1、123番2 地目：〇〇 地積：登記（〇〇.〇〇㎡） 実測（〇〇.〇〇㎡） 有効（道路後退がある場合）										
2	建築しようとする建築物、用途の変更後の建築物又は新設しようとする第一種特定工作物の用途	<table><thead><tr><th></th><th>申請</th><th>全体</th></tr></thead><tbody><tr><td>一戸建専用住宅</td><td>建築面積 〇〇.〇〇㎡</td><td>〇〇.〇〇㎡</td></tr><tr><td>木造2階建</td><td>延床面積 △△.△△㎡</td><td>△△.△△㎡</td></tr></tbody></table>			申請	全体	一戸建専用住宅	建築面積 〇〇.〇〇㎡	〇〇.〇〇㎡	木造2階建	延床面積 △△.△△㎡	△△.△△㎡
	申請	全体										
一戸建専用住宅	建築面積 〇〇.〇〇㎡	〇〇.〇〇㎡										
木造2階建	延床面積 △△.△△㎡	△△.△△㎡										
3	改築又は用途の変更をしようとする場合は、既存の建築物の用途	用途・規模構造を記載 小数点以下第2位まで記載										
4	建築しようとする建築物、用途の変更後の建築物又は新設しようとする第一種特定工作物が法第34条第1号から第10号まで又は令第36条第1項第3号ロからホまでのいずれの建築物又は第一種特定工作物に該当するかの記載及びその理由	令第36条第1項第3号ホ 1. 5倍を超える既存建築物の建替え										
5	その他必要な事項											
※ 受付番号		年 月 日 第 号										
※ 許可に付した条件												
※ 許可番号		年 月 日 第 号										

- 備考 1 申請者が法人である場合においては、氏名は、その法人の名称及び代表者の氏名を記載すること。
- 2 ※印のある欄は記載しないこと。
- 3 「その他必要な事項」の欄には、建築物の新築、改築若しくは用途の変更又は第一種特定工作物の新設をすることについての他の法令による許可、許可等を要する場合には、その手続きの状況を記載すること。

連絡先を必ず記載

連絡先（名称・担当者名・TEL）

○申請書類チェックシート

③1.5 倍を超える既存建築物の建替え

	添付書類	明示内容（注意事項）	
☐	1 申請書	申請書記入例を参照して記入	
☐	2 理由書	延床面積が 1.5 倍を超えて建築しなければならない理由 注 ¹	
☐	3 住民票謄本	世帯構成員が増える等の根拠を示すもの（3 ヶ月以内のもの）	
☐	4 土地の登記事項証明書	既存の建築物が適法に建築された時点と申請敷地が同一であると確認できること（3 ヶ月以内のもの）	
☐	5 公図写し	・申請敷地を色枠等で明示 ・道路を赤色、水路を青色で表す	
☐	6 位置図	・方位、縮尺 1/2500 以上 ・敷地の位置、形状を色枠等で明示	
☐	7 敷地現況図	・方位、縮尺 1/250 以上 ・敷地境界 ・周辺の公共施設 ・既存建築物の配置 ・既存建築物の構造、建築面積、延床面積、高さ等を明示	
☐	8 既存建築物の各階平面図 ▲	残存住宅がある場合は、その間取りを確認できるもの	
☐	9 敷地求積図	・三斜求積図又は座標求積図（縮尺 1/250 以上） ・セットバックを伴う場合は、後退部分も求積	
☐	10 計画配置図	・方位、縮尺 1/250 以上 ・敷地境界 ・周辺の公共施設 ・排水計画 ・予定建築物の配置 ・セットバックを伴う場合は、位置を明示	
☐	11 敷地断面図	・予定建築物の位置、擁壁等を図示（2 方向以上） ・縮尺 1/250 以上 ・現況、計画断面を兼ねる場合は分かるよう記載（例：現況＝計画等）	
☐	12 予定建築物の 各階平面図・立面図	予定建築物の間取り、構造、高さ等を明示（縮尺 1/250 以上）	
☐	13 建物求積図	・予定建築物の建築面積、延床面積の算出根拠 ・建ぺい率、容積率 ・縮尺 1/250 以上	
☐	14 新旧対照表	新旧の適法な建築物の一覧、倍率等を記載（参考様式有）	
☐	15 既存建築物の証明書類 《いずれかを添付》	○線引前の建築物 ・建築確認通知書 ・建物登記事項証明書 ・その他証するに足る書面	○線引後の建築物 ・建築確認通知書 ・43条建築許可証 ・適合証明 ・その他証するに足る書面
☐	16 敷地概要書	土地の現況等、下水の排出等、接続道路等（参考様式有） ※排水先が県道の場合は県袋井土木の了承が必要	
☐	17 現況写真	・周辺の状況、既存建築物等を確認できる写真（2 方向以上） ・敷地境界を色枠等で囲む	
☐	18 土地使用承諾書 ▲	申請者と土地所有者が異なる場合は添付（参考様式有）	

《▲の書類は、必要に応じ添付してください。》

注¹ 理由書には、1.5 倍を超えて建築する具体的な理由を明記し、それを証明する書類を添付（例：同居の場合、同居者全員の住民票等）